

新斎場建設調査特別委員会

6月定例会付託議案審査

議第78号「三原市斎場設置及び管理条例の一部改正について」

【概要】新斎場の建設及び供用開始に伴い、三原市斎場の位置を変更し、本郷斎場を廃止し、世羅三原斎場組合火葬場の使用料の公費負担に係る規定を削除するため、条例を改正したいとするもの

【主な質疑の内容】

【問】使用料の公費負担に係る規定が削除されることに伴い、久井町及び大和町の住民が、令和2年10月1日以降に世羅町の火葬場（やすらぎ苑）を利用した場合の使用料は。

【答】現行で無料の使用料は、規程の削除に伴い、10月1日からは、火葬一体あたり2万円となる。3年4月以降については、火葬一体あたりの使用料3万円となる。

議第79号「三原市斎場の指定管理者の指定について」

【概要】指定管理者として、2年10月1日から5年3月31日まで、まごころサービスグループを指定することについて議決を求めたいとするもの

【主な質疑の内容】

【問】指定管理者の選定基準に、感染症対策について評価する項目を設けていたか。

【答】感染症対策の個別の項目は設けていないが、指定管理者に対しては火葬、遺体、会葬、収骨等の取扱いにおける適切な運営体制を整えられるよう協議し、10月の供用開始を迎えたい。

【問】市内事業者からの応募の意向はなかったか。

【答】問い合わせはあったが施設の管理費用の算定ができなかったため応募はなかった。

【問】指定基準のうち、地域経済・地域活性化への貢献の項目で、採点に差が出た理由について。

【答】まごころサービスグループからは、市内業者への発注に関して前向きに検討することを示した関心表明書の提出や、市内在住者の雇用に配慮する提案があり、積極的な取り組み姿勢がうかがえた。

【採決】

採決の結果、第78号議案ほか一件について全員一致提案理由を了とし各案は原案どおり可決した。



建設中の新斎場

議員全員協議会の概要

市長要請による議員全員協議会が5月29日に行われ、質疑応答がありました。

※議員全員協議会とは・・・市から提出された議案を審査する委員会とは違い、市が行政上の重要課題について、議会の意見を聴くための協議会のこと。

新型コロナウイルス感染症に係る三原市の中小企業等への支援について

【概要】本市独自の支援事業として、第1弾から第4弾までの緊急経済対策を打ち出してきた。今回打ち出された第4弾の経営支援給付金事業や観光事業者等支援給付金交付事業について、また第1弾から第3弾までの状況などについて質疑があった。

【問】送で案内していく。金融機関に周知をお願いしてはどうか。

【答】連携していきたい。援制度を活用していただきたい。

広報について

【問】市の支援策だけではなく国や県の施策もまとめて広報できないか。

【答】市の独自施策の内容が交付決定され次第、公表する。

事業継続支援給付金について

【問】家賃収入や農業で生計を立てている方への給付はないのか。

【答】事業所支援を目的としていることから、営業所得の申告をされている方に限定している。

観光事業者等支援給付金交付事業について

【問】生活航路への支援はないのか。

【答】引き続き国や市の支

